

教員免許更新制の廃止を！ 必要なのは自主的研修の保障です

署名の声ぞくぞく

教員が学校で働くときに必要となる「教員免許」には有効期限があります。10年に1回の免許更新講習を受けないと、教員免許は執行し、さらに失職してしまいます。このことは、教員の身分を不安定にするもので、非常に大きな問題です。廃止・撤回が求められます。

泉北教組では、「教員免許更新制の廃止を求める一言付き署名」にとりくんでいます。教員免許更新制の廃止は、多くの教職員の賛同を得られています。

寄せられた声の一部を紹介します。

◆教員としての資質能力の向上については、私自身も大切だと考え、研修を受けることは興味深く思います。

しかし、自費で30時間の講習を「更新」の為に受けさせる後付けの制度には疑問を抱きます。ブラックな職業だと言われる一因にもなっていると感じます。

◆35人学級になると、教師の数が必要となり、免許を持つている人から、さがさないといけなくなるのに、更新制があれば、やめようと思つ人もいます。是非廃止して下さい。

◆教員免許更新をしました。が、教員としての力量が向

上したとは思えません。教師は現場での対人能力が一番もとめられると思いますし、この制度では教員の負担のみが増えてしまっているのが現状です。10年以上現場を離れていた教員のみを対象としてはどうでしょうか。

◆日々の研修や自己研鑽は教員にとり必要なものであると思いますが、この教員免許更新制は負担が大きいく現状に合っていないと思うので廃止をお願いしたいです。

◆教員免許更新制は何のために行っているのか、その意図が良く伝わらない。現場泣かせとしか言いようがない。

◆教員免許更新制があるために、なかなか講師の先生が集まりません。ぜひ廃止を！

◆講習へ行く時間を子どもと直接関わる時間や、教材研究をゆつくりとする時間などにあてたいです。あと

は講師が見つからず人手不足になることを防止するためにも更新制はなくなればありがたいと思います。

◆あと数年で2度目の更新です。まだ続けたいと思いますが、更新講習が負担なので悩んでいます。

◆日々の児童への教育を最優先すると同時に、働き方改革も進めていく上で「教員免許更新制」は必要ないと考えています。

◆国の宝を育成するこの仕事を続けるために、金銭的時間的な負担を要する愚策は即刻撤廃するべきだ！教員に負担させるとは（教育に予算をまわせないなら）国力の衰退しか感じられない。教育の中枢が本気を出してほしい。

「更新制」は廃止を

本来教職員の学びは、専門職として現場から生まれ、自主的な課題意識と共に深められていくものです。

教員免許を人質のようにして強制する、管理統制の「更新講習」では、教員は成長せず、教育が良くなるはずがありません。

「教員免許更新制」は廃止・撤回しかありません。

え！

公務員の定年制 65歳まで延長

先日の国会で、公務員の定年制が2023年から2年ごとに1年ずつ上がり、2031年には65歳になることが決まりました。

年金支給が65歳になることから改悪されるようです。

問題は月額給与が7割ぐらいに削減されるといふことです。「同じ仕事をして、下がるって！働く意欲がなくなる」の声も聞かれます。

退職金は『当面の間』は60歳以降に退職しても60歳の時と同じだということですが、これもどうなるか：「自己都合」ということで退職を判断されると、すぐ減ります。

今の政府の考えること、悪くなっても良くはならないでしょう。

老後の生活が大きく変わります。

